

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公表番号】特表2002-516318(P2002-516318A)

【公表日】平成14年6月4日(2002.6.4)

【出願番号】特願2000-550837(P2000-550837)

【国際特許分類】

C 07 D 207/34	(2006.01)
A 61 K 31/40	(2006.01)
A 61 K 31/426	(2006.01)
A 61 P 3/06	(2006.01)
A 61 P 3/10	(2006.01)
A 61 P 13/12	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
C 07 D 277/04	(2006.01)
C 07 D 295/18	(2006.01)
C 07 D 417/12	(2006.01)
A 61 K 38/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 207/34	
A 61 K 31/40	
A 61 K 31/426	
A 61 P 3/06	
A 61 P 3/10	
A 61 P 13/12	
A 61 P 43/00	1 1 1
C 07 D 277/04	
C 07 D 295/18	Z
C 07 D 417/12	
A 61 K 37/02	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月27日(2009.7.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0001

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0001】

本発明はアミノ酸およびチアゾリジンまたはピロリジン基から形成されるジペプチド化合物およびジペプチド化合物に類似の化合物、およびその塩(以下ジペプチド化合物という)、また、哺乳動物における耐糖障害、糖尿、高脂血症、代謝性アシドーシス、糖尿病、糖尿病性ニューロパシーおよび腎症の治療、ならびに糖尿病後遺症の治療における該化合物の使用に関する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0011】

したがって、本発明の目的は、例えば、哺乳動物における耐糖障害、糖尿、高脂血症、代謝性アシドーシス、糖尿病、糖尿病性ニューロパシーおよび腎症の治療、ならびに糖尿病後遺症治療のための新規（特に活性を低減する）エフェクター、およびかかる疾患の簡単な治療法を提供することである。

## 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0024】

したがって、本発明はジペプチジル・ペプチダーゼIV（DP IV）またはDP IV類似酵素の活性のエフェクター、および哺乳動物生体血清の血糖レベルを高血糖症の特徴であるグルコース濃度以下に低下させるその使用に関する。本発明は特に哺乳動物生体において病的代謝異常、例えば、哺乳動物における耐糖障害、糖尿、高脂血症、代謝性アシドーシス、糖尿病、糖尿病性ニューロパシーおよび腎症、ならびに糖尿病の後遺症を防止または軽減するに際して、本発明によるDP IVまたはDP IV類似酵素活性のエフェクターを使用することに関する。さらに好適な態様において、本発明は哺乳動物生体血清の血糖レベルを高血糖症の特徴であるグルコース濃度以下に低下させる方法に関し、本発明による少なくとも1種のDP IVまたはDP IV類似酵素活性エフェクターの治療有効量を哺乳動物生体に投与することを特徴とする。

## 【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図3】

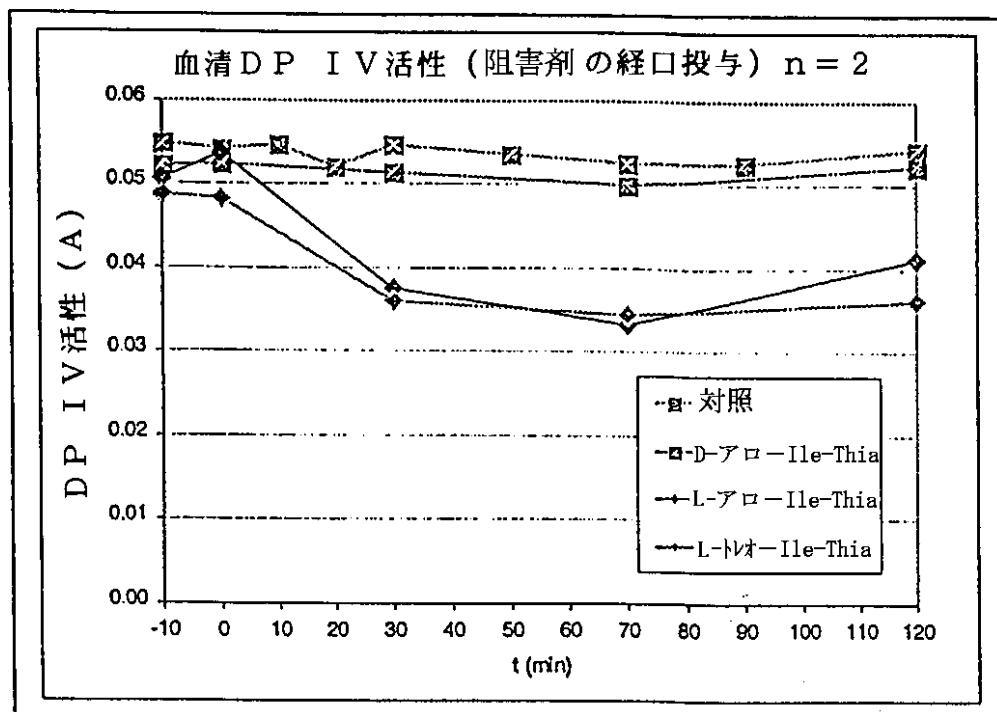


図3：種々 H - I l e - T h i a 立体異性体経口投与後の血清 D P I V 活性 (5  $\mu$ M / 300 g ラット)。酵素活性は L - アロ - I l e - T h i a および L - トレオ - I l e - T h i a によってのみ影響を受けた。